



学校だより

「ほめ、認め、励ます」支援を大切にした教育活動を進めていきます！

8月23日に中3 T先生の授業を通して学ぶ、校内授業研究会を実施しました。

校内授業研究会の大きなねらいは教師の指導力の向上にあります。本校においては、日本の学校とは違う教室環境や限られた授業時間数の中で、いかに効果的・効率的に授業を進め児童生徒にしっかりとした学力(自ら学ぶ力)を身につけさせていくのが大切になってきます。

その対応・解決に向けて、昨年度に引き続き、今年度も研究テーマを【「わかる・できる」を実感でき、学ぶ意欲が高まる授業の創造 ～ICT(iPad)の効果的な活用を通して～】とし、全教員で提案授業を通して研修する全体授業研究会(年1回)、放課後を活用した研修会(年2回)を実施しています。

また、表題にも書きましたが主体的な学びの基盤となるのは教員・保護者の皆様の「ほめ、認め、励ます」支援だと思っています。再度、全教員で共通理解を進めていきます。子どもたちの「やる気スイッチ」を押す一つの方法は、子どもたちの中に「行動の価値」をつくっていくことだと考えています。「ほめる」=「価値づける」であり、このことは意欲的に学び、自ら環境を整える力を子どもたちに育てていくことに繋がっていくと思っています。

より良い支援や声掛けがあると、意欲が出て、できるようになると達成感が生まれ、さらにやってみようとする「行動の好循環」が生まれます。そのためにも、少し頑張ったことをタイムリーにほめたり認めたりすることが大切です。スモールステップで「できる自分」に気づかせていくことが大切です。

昨年度から今年度にかけて、学校運営理事会より小・中学部全教員にいきわたるようiPadを購入していただきました。この ICT 機器を効果的に活用し、「ほめ、認め、励ます」支援と共に全教員で「わかる・できる」授業の創造を目指していきたいと思います。

保護者の皆様には校内授業研究会の実施に際して、1校時に課題学習(ワークシートや小テスト)体制を取らせていただきましたことにご理解とご協力をいただきありがとうございました。

2学期始業式より

代表の生徒が伝えたいことをきちんと話し、全校児童生徒も真剣に聞いていました。この子供達の姿に、日々の学習の成果(話す・聞く)が表れているなと感じました。

【児童生徒会からの連絡】

【中学部3年生から(読書調査について)】

おやつ販売ありがとうございました！

保護者の皆様、おやつ販売の実施いつもありがとうございます。子どもたちが目を輝かせて体育館に走っていき、満面の笑顔でお菓子を選んでいる様子を見るとこちらまで笑顔になります。担当学年の皆様、ご多用の中、準備から販売まで当にありがとうございました。

次回もお世話になります。よろしく願います！

生徒指導主任より

2学期始業式に生徒指導主任(T先生)から、「あいさつ、返事」の大切さについての話がありました。全校児童生徒が真剣な眼差しで聞いていました。

次回の集会では、以下の学校規則(携帯電話、学校での過ごし方等)について話をします。

- ・授業に不必要な物は持ってこない。
- ・学校就業時間内は**携帯電話の電源を切る。(学校にいる間)**
- ・おやつのごみは**家に持ち帰る。**

アイラムスクールにあるごみ箱には「ごみを捨てない」こととなっていますのでお子様への確認をご家庭でもお願いします。

2学期後半も、保護者の皆様の温かいご支援とご協力を何卒よろしくお願いいたします。